



国土交通省 道路局長 殿

19 遠建第 100 号
平成 19 年 5 月 1 日

遠賀町町長 木村 隆



中期的な計画の作成にあたっての意見

1. 重点化を進める上で特に優先度の高い政策

国が行う道路整備については、現在、国民の意見の集約として無駄な道路が多いとか、あんな田舎に道路は必要ないのではないかなどの議論だけが先行しているように思えます。しかしながら、道路というものは、人体に言い換えると心臓から送られる血液が体の隅々を巡ることにより体に活力が生まれてくるのだと考えています。中央や大都市の経済が地方に運ばれ地方の活力になり、地方の特産品や生鮮品が中央や大都市の経済の源になる。このように道路は、低迷する国家経済の活力の源であります。血液の流れが悪くなると病気になり活性しなくなります。活性しないところにおいては、早急にバイパスが必要になります。また、古くなった道路においては、其の機能の回復や補修が必要になります。街中を通る国道には、景観が必要かもしれませんが田舎に通る国道は、其の機能を有するだけでよいのではないかと考えています。

今後も、国の活力を保つためには、上記に述べたように渋滞無く地方と中央を結ぶ幹線道路や高速道路が必要と考えます。無駄の議論も必要ですが道路の機能を最大限に活用して経済の建て直しを図ることが地方間の格差をなくすことにつながると考えています。

2. 効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

既存ストックを効率的に改修することが大きな財源を削減する最大の道だと考えます。また、国道や高速道路については、景観重視になっていますが本来の機能を重視して管理をしなくて良いように樹木や植栽などは、廃止して道路機能を優先したほうが財源の縮減につながる。

3. その他、道路政策や道路の整備・管理に関する意見

特にありませんが、国道へアクセスする県道や地方道の乗り入れや出口については、危険箇所が多く見受けられます。其の解消をお願いしたい。

最後になりますが本町に走る国道 3 号線についてであります。この国道は、県道浜口遠賀線と平面交差をしていましたが、上り車線につきましては現在立体となりましたが下り車線は依然として平面交差になっていて渋滞の原因となっています。用地については、大方の確保ができていますので今後の町の活性化のために下り車線の早期実現をお願いいたします。